

- 東北観光博を通じて、設定された30箇所の各ゾーンが、どれだけ集客できたかを把握することを目的に、GPSで取得された位置情報（ビッグデータ）を活用
- 各ゾーン毎の集客力等を明らかにするとともに、観光客の行動を分析

## ◇使用データ

- ・株式会社ゼンリンデータコム「混雑統計」データ

## ◇把握する項目

- ・全30ゾーン毎の
  - ①「滞在時間の分布」
  - ②「来訪者数の宿泊割合（宿泊者数/来訪者数）」
  - ③「当該ゾーンへの来訪前後に訪れているゾーン及びその比率」
  - ④「当該ゾーンでの非宿泊者が前後に宿泊しているゾーン及びその比率」

## ◇調査期間

- ・平成24年3月～平成25年3月（13カ月間）  
※平成24年3月1日～平成25年2月14日の取得データを分析  
平成25年2月～3月分については、前年同月などのデータから推定



## 許諾を得た70万人の位置情報※を統計処理

データ提供  
事業者



観光庁  
及び  
受託事業者

個人情報と関連性のない位置情報※を調査設計に応じて統計処理

メッシュ情報や図表としてアウトプット

# 性別・年齢等の属性はありません

メッシュや図表として統計処理された分析結果を受託事業者がデータ提供事業者より受け取る

既存統計等によるデータ検証や現地ヒアリングの結果などを踏まえメッシュや図表を再編成(=データセット)

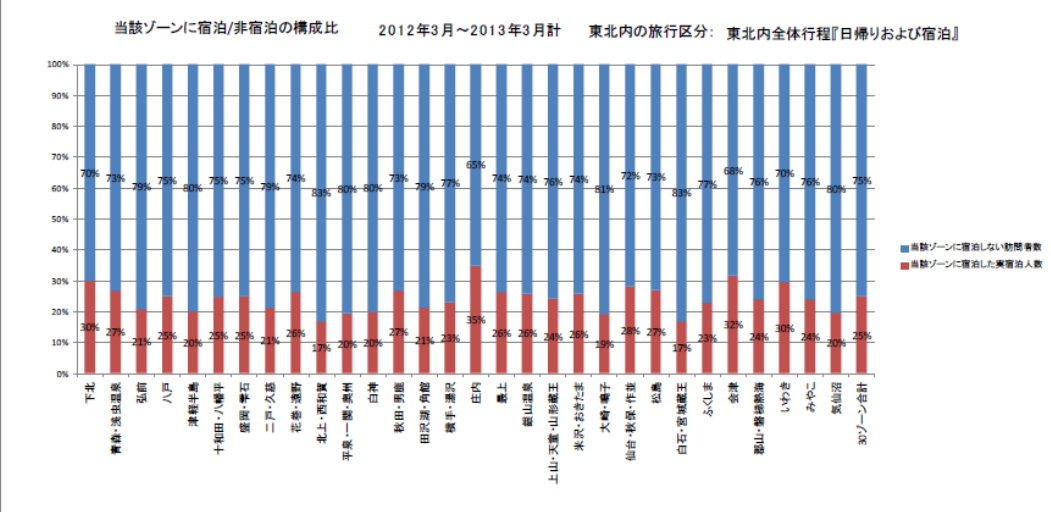
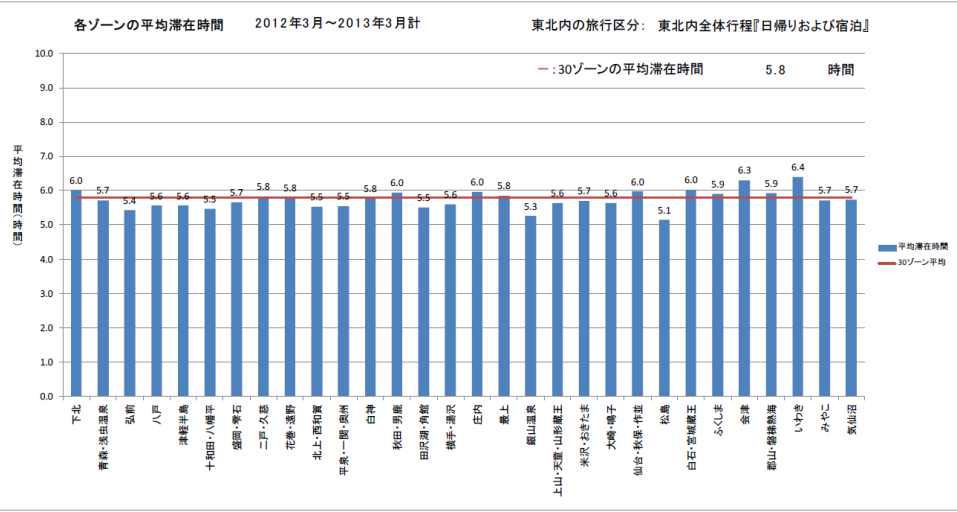
データセットより必要な要素を抽出し報告書として取りまとめる

データセット、報告書を受託事業者より観光庁が受領(データセットは非公開)

※地図とナビのアプリ利用者より、許諾を得られた50~70万人分(時期により変動・月単位のユニーク数)の、最短で5分間隔で取得されたGPS情報を蓄積。性別・年齢等の属性との関連性はありません

# 滞在時間の分布・宿泊割合

- 全ての来訪者を対象にした場合、30ゾーンの平均滞在時間は5.8時間であった。
- 旅行形態区分で見ると「日帰り」が5.8時間、「1泊」が5.6時間、「2泊以上」が5.9時間であり、比較的東北内に滞在する日数が長い方が、1ゾーンでの滞在時間も長い傾向がみられた。
- 全ての来訪者を対象にした場合、30ゾーンの合計では宿泊比率は25%であった。



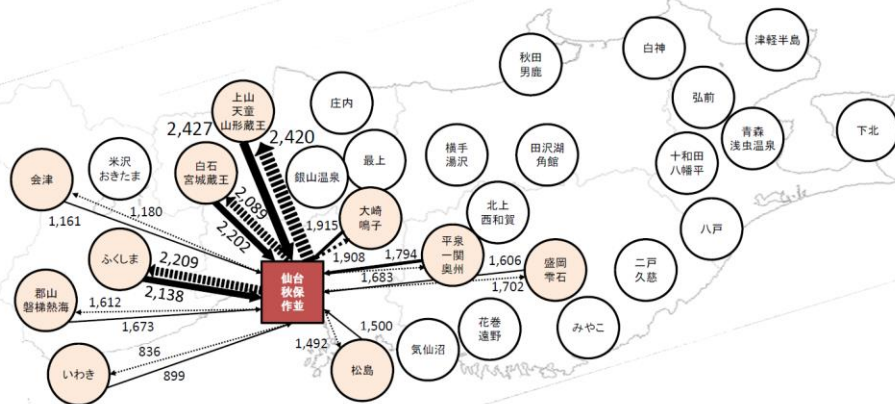
- 各ゾーンの平均滞在時間
  - ・ 滞在時間3時間以上の来訪者を集計
  - ・ 最小値：松島ゾーン (5.1時間)
  - ・ 最大値：いわきゾーン (6.4時間)

- ゾーン別の宿泊/非宿泊の構成比
  - ・ 日付を跨ぐ7時間以上の滞在を宿泊として集計
  - ・ 最小値：北上・西和賀ゾーン  
白石・宮蔵蔵王ゾーン (17%)
  - ・ 最大値：庄内ゾーン (35%)

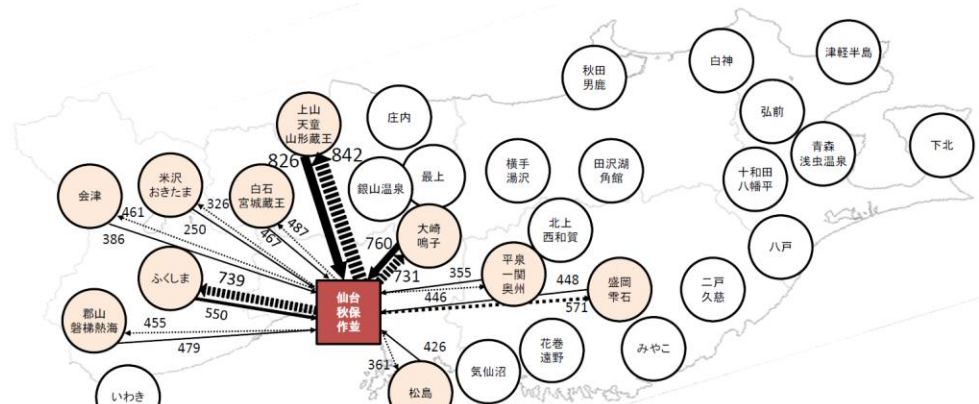
# ゾーンへの来訪前後に訪れているゾーン

- 訪問者数が約1,600万人と最大の「仙台・秋保・作並ゾーン」を例示。
- 当該ゾーンを訪問した観光客（日帰り・宿泊の合計）の内、その前後に他のゾーンを訪問した観光客の比率は、14.3%。この比率は、東北観光博全ゾーンの中で最も低い比率となっている。
- 前後の訪問ゾーンとしては「上山・天童・山形蔵王ゾーン」「ふくしまゾーン」「白石・宮城蔵王ゾーン」の比率が高くなっている。
- また、東北エリアで宿泊する場合、「上山・天童・山形蔵王ゾーン」で宿泊した後「仙台・秋保・作並ゾーン」を日帰りで訪問する観光客、「仙台・秋保・作並ゾーン」を日帰りで訪問した後「上山・天童・山形蔵王ゾーン」に宿泊する観光客が多い。

【仙台・秋保・作並ゾーンを訪問した観光客がその前後に立ち寄ったゾーン（2012年3月～2013年3月）】  
◀矢印は、その前後のゾーン立寄り数が上位10位のものを表示▶



【仙台・秋保・作並ゾーンに宿泊しなかった人が、その前後で宿泊したゾーンの比較（2012年3月～2013年3月）】  
◀矢印は、その前後のゾーンの宿泊者合計数が上位10位のものを表示▶



◀ : ①当該ゾーンを訪問する前に立ち寄ったゾーンからの移動  
▶ : ②当該ゾーンを訪問した後に立ち寄ったゾーンへの移動  
100 : 入込客数(百人)

混雑統計®  
©ZENRIN DataCom CO., LTD.

◀ : ①当該ゾーンに立ち寄る前に宿泊したゾーンからの移動  
▶ : ②当該ゾーンに立ち寄った後に宿泊したゾーンへの移動  
100 : 入込客数(百人)

混雑統計®  
©ZENRIN DataCom CO., LTD.